



# ニューズレター あすか

2007  
11月号

通算 176号

2007年11月1日

**NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク  
第13回全国のつどい in 東京2007  
「支え合う地域の創造」に参加して**

9月16日(土)、17日(日)に東京・国立市の一橋大学で開催された『第13回全国のつどい in 東京2007』「支え合う地域の創造」に行つて参りました。プログラムの一つ、実践セミナー「口から食べるために」そのためにどつする」をご報告します。

ケアマネージャー 歯科衛生士

河原 奈津

## 口腔実践セミナー

### 「口から食べるために」

#### そのためにどつする

寝たきりの方や、認知症のため口から食べることが少なくなると、廃用性の変化が起きて、口腔の機能がどんどん低下し、極端な場合は「食べる口」を忘れてしまいます。セミナーでは「最後まで口から食べる」ことを目標に医療、保健、福祉をはじめとする多職種が連携し、「食べる口」を取り戻すためのアプローチについて学びました。



▲ 一橋大学 兼松講堂

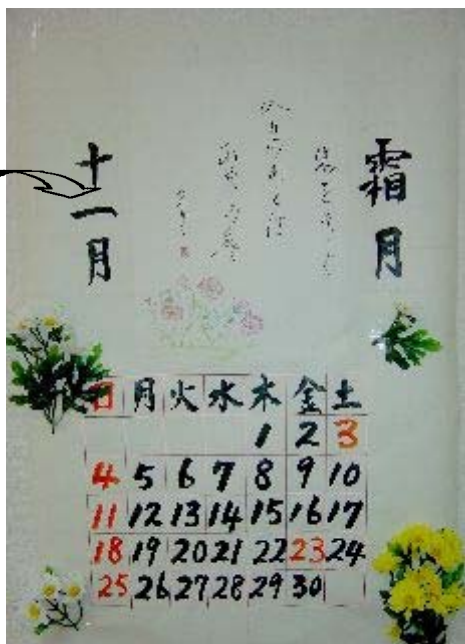
神奈川県で歯科医院を開業されている歯科医黒岩恭子先生は施設を訪問する中で、「くるりリーナブラシ」を9年前に考案されました。くるりリーナブラシは口腔ケアに携わる歯科医師・歯科衛生士・看護師などの間ではとても有名です。黒岩先生が歯もきれいにしながら「痰」をとること、口腔のリハビリと同時にかなえられる歯ブラシを作りたいと、試作品を山のように作つて今のくるりリーナブラシを作つたというお話はとても興味深かったです。黒岩先生のすごいところは「これで完成」ということがなく、くるりリーナブラシが絶えず進化し続けていることです。今でもオブラートを口の中にたくさん貼つて痰状のものをつくり、つねに開発を続けておられるそうです。

(次頁へ続く)

## 【目次】

## 【ページ】

1. 研修報告 続き……………2
2. みんなでお月見団子を作って食べよう
3. インフルエンザワクチン接種のご案内
4. おもしろきかな我が人生  
～大倉 スギヨさん～……………3
5. あすか事業所だより……………4
6. あすか事業所だより……………5
7. 委員会だより……………6
8. あすか11月のロードショー
9. 若竹句会 9月作品抄……………7
10. ホームページの紹介……………8



朱をそそぐ  
入日のあとは  
あきの暮

書道参加のご利用者様作  
カレンダー

口腔リハビリとは歯ブラシを口の中に入れて頬の内側を刺激したり、伸ばしたり唇の内側を伸ばしたり、バイブしたりして口の中から筋肉を刺激するものです。これを歯ブラシですると毛先の部分の裏側のプラスチックが歯にガチガチと当たって不快感があるのですが、くるリーナブラシは全面が丸く毛でおおわれています（写真をご覧ください）ので自分でされる場合も、術者がする場合もやさしく行うことができ、またされる方はとても気持ちがいいものです。くるリーナブラシについてご利用者様に、ご紹介したいと思います。ご希望の方には、使って頂ければと思います。

また、認知症等の場合、自分で歯ブラシを持ってなかつたり、お口のリハビリ体操ができなかつたりすることが多く見られます。嚥下機能を維持するために、くるリーナブラシでしっかり口の周りや頬の筋肉を刺激し、口腔機能を向上させたいと思います。



くるリーナブラシ

## かるやんちょーく みんなでお月見団子を作って食べよう!



9月22日(土)秋の気配を感じるこの日、かるやんちょーくのご利用者様が、お月見団子作りに挑戦しました。まずは白玉団子の粉をみんなで丸めて下ごしらえ。大きい団子や小さい団子、形もさまざまな団子をたくさんゆでて、あんこときなこをのせました。みなさん緑茶と一緒にペロリと召し上がられ、最後にお月さまを思い浮かべながら、「十五夜」を合唱しました。

秋の雰囲気と味覚を、たっぷり堪能できた一日でした。



あっという間に食べちゃいました!



一生懸命団子を丸めました!



おいしいね~

## インフルエンザワクチン接種のご案内

外来では10月15日よりインフルエンザワクチンの接種を開始しますが、デイサービス・ショートステイなどあすか介護事業所のご利用者の方には、別紙「ご案内及びご希望用紙について」を同封致します。

65歳以上の方は接種料金は1,000円です。(広島市内に住民票を有する方)

但し、65歳以上の方で生活保護世帯または市民税所得割非課税世帯に属している方は無料で接種できます。証明できる物をご持参下さい。





「涙した事もあつたけど娘がいたからがんばれた人生だった」

大正14年9月20日生まれ(82歳)

わが家の愛犬...げんすい

好きなこと...挟み将棋

大切な宝...娘二人

### 育った町

私は倉橋という広島県の島で育ちました。八人兄弟の長女です。倉橋は海と山に囲まれ、空気もよく景色も抜群にいいところです。朝、太陽が昇り沈むまで、綺麗な青空や夕陽が心を癒してくれます。そんな場所でした。楽しかったことは、海で泳ぐ事と釣りです。釣りではギザミ、チヌ、ボラといろんなものが釣れました。ボラはぬかを炊いて海に投げると何十匹とよって来るので、すぐ針にくっついてきました。タコも一度に13匹も取ったことがあります。小船に乗ってタコの巣を見つつけ、かんつき(竹の先に太い針金がついたもの)で捕まえる...おもしろかった日々がたくさん浮かび上がります。

### 家の手伝い



父はずごく厳しい人で、「甘やかして育てたらろくなもんにならない」と言っていて、でも子供にさせていました。私は長女なので特に厳しかったです。「上がしないと下がない」と言い、私ばかり手伝わされました。少し休もうとすると、すぐ怒られて山に逃げた事もありました。そのあと、納屋に隠れていると母がご飯を持ってきてくれました。母はずごくやさしい人でした。小学校6年生の頃、親の手伝いで牛を使って田んぼをならしていた時、牛が私の方を見て、「べたっ」と水中に座り動かなくなりました。父が「むちでたたけ」と言ったので叩いたけれど

全く動きません。しかし父が来るとパツと立ち上がり歩き出しました。「牛も人を見るんだなあ...」と感心したけれど、頭にきたので罰として牛を小屋に入れたときむちで「パチッ」と叩きました。今思い出して、声を出して笑えるほどおもしろかったです。

### 人生の転機

私は結婚し、二人の娘を授かりました。しかし、家族四人の暮らしは夫の「死」によって悲しみに包まれました。「今からどうやって暮そうか」「二人の幼い子供を抱えてどうしようか」「一人になったことがないので、不安でいっぱいでした。そして思い切った妹の婿さんに相談したら、「こつちに来い」と言われ、来たのが現在住んでいる緑井です。私の弟が大工だったので今の家を建てました。そして「大倉商店」を開店させました。店では駄菓子や文具、ハンコなどいろいろ売っていました。自分の家で働き、自分の家で子供を大きく育てました。もちろん緑井に来てから再婚の話もいっぱいありました。しかし私は、子ども二人は、私が一人で立派に育てます」とはっきり言い切って断り、家族三人いるいるな苦労や喜びを感じ合いながら生きてきました。今の家があったからこそ、今があると思っ

ています。建てたばかりの時、周りは田んぼや畑ばかりだったのに、今では立派な街になったと時の流れを感じます。

### 今の幸せ

私は今、長女の家族と一緒に暮らすことができ、本当に幸せです。デイサービスでは、野ばらやしゅりあちよーくのスタッフの方々が良くしてくれ、楽しく過ごしています。畑仕事も昔を思い出し、わくわくしながら他のメンバーの方と、野菜を一緒に育てています。いろんな出会いやそして別れを繰り返して生きてきた中で、原点を考えると、やはりきれいだっただあの島の海を思い出します。



▶ 17年前のお写真

悲しかったこと、嬉しかったこと、人生の中で経験してきたからこそ、今の大倉さんの笑顔があるのだと思います。「笑うかどには福きたり」とありますが、今後も多くの人にその笑顔を見せてくださいね。

しゅりあちよーく 花本ひとみ

# 「音楽療法で絵画」

「音を色にして描く」

まやる・かるやん・シヨートステイでの音楽療法の時間に、絵画制作を取り入れています。「絵画」といつても「音楽療法」の時間です。色々々な音楽を聴きながら利用者のみなさんにイメージを膨らませていただき、いわば「音」を「色」にする、といった創作やり方です。

始めは「?・・・どうすりゃいいのよ」という感じで戸惑っておられますが、そのうちお一人おひとりの内なる世界に没頭して、それは見事な色づかいで、今まで見たこともないような素晴らしい色彩の作品が出来上がります。新館5階、3階シヨートステイにお越しの際は、ぜひご覧になってください。

音楽療法講師

杉丸 七重



インド楽器シタールによる演奏



武満徹「波の盆」  
(岩城宏之指揮 東京コンサーツ)



G. Holst 組曲「惑星」より 木星、金星、土星  
(小澤征爾 指揮 ポストン交響楽団)



インプロヴィゼーション「ケルン・コンサート」  
(ピアニスト キース・ジャレット)

美術館に飾っておきたいくらいの作品です！  
それぞれ曲を聴きながら描かれました。

## シヨート・つどいの家

### 敬老会

9/13



百賀！  
こんなに祝ってもらってうれしいよ。  
もっと長生きするよ。



ありがとう。  
これからも  
元気で過ご  
したいなあ

祝辞を述べる事から始まった今回の敬老会は、ご利用者の皆様は少し緊張した雰囲気の中で、開始されました。式の中で、これまでの月日のことをいろいろと思い出されたのか、涙を流しておられるご利用者様もおられました。  
シヨートステイ、つどいの家ご利用者様各1名ずつよりお礼の言葉をいただき、スタッフもとても貴重な時間を過ごさせていただきました。利用者の皆様方が健康で一日一日を大切にできるように過ごしていきたいと改めて実感されているのが伝わってきたひと時でした。

# 感謝祭

9/18

しゅりあちよーく・野ばら

しゅりあちよーくでは敬老の思いを込めてご利用者様に感謝するという熱い思いで、毎年感謝祭を開いています。今年も、第一タクシーの皆様が来てくださり、楽しいひと時を過ごしました。ご利用者様には一人ひとりタオルを配ってくださり、しゅりあちよーくには素敵な車イスをプレゼントしてくださいました。早速、ご利用者様に乘っていただき「すごく乗りごちがいいいです」の一声、全員で盛大な拍手・・・

そして「秋川雅史？」さんが、琴の演奏で「千の風になって」を熱唱されました。琴の音色とご利用者様の声のハーモニーがしゅりあちよーく中に響き渡りました。第一タクシーの皆様、本当にありがとうございました。大切に使用させていただきます。その後「しゅりあちよーく劇団」による「水戸黄門」の劇が行われ、一同笑いのうちに会が終わりました。



第一タクシーの方による秋川雅史さんの「千の風になって」



ご利用者様とスタッフによる黄門様ご一行



第一タクシーから贈呈された車椅子に座られる川島様

## 防犯講習会

9/19

毘沙門台学区防犯組合の方々の主催により地域住民の方々としゅりあちよーく・野ばらのご利用者様を対象に防犯講習会が開催されました。防犯組合の方々による振込め詐欺の寸劇では、迫力ある演技で、笑いあり、共感ありで、思わず引き込まれてしまいました。また、警察署の方のお話にも、メモを取ったり、質問をしたりする方もおられました。とても楽しく有意義な会でした。これから地域密着型サービス事業所としてご利用者様が地元の方々と交流するお手伝いをしていきたいと思えます。

迫力ある演技に引き込まれていました！



### 【悪質な詐欺に合わないためには...】

お金はすぐに振り込まない。  
一人で悩まない。おかしいと思ったら、家族や警察、金融機関、消費生活センターなどに相談する。  
個人情報を知りたくても教えない。  
いったん電話を切り、家族や会社等に電話連絡し、事実確認をする。

つどいの家

つどいの家では、月・水・金曜日の週3回、午後から歌の先生が来られます。そしてピアノやハーモニカの音に合わせて童謡から歌謡曲までさまざまな歌を歌います。

ご利用者様のリクエストがある度に一曲、また一曲と新しい歌が増えていきファイルの歌集もだいぶん厚みをましました。また、歌以外の時間も設け、編み物やランプなどからご自分のやりたいものを選んで参加いただいています。編み物では、お一人おひとりが編まれたものをつなぎ合わせて合作を作成中なのですが・・・完成まであと少し。できあがったらまたご紹介できればと思います。



出来上がりが楽しみですね！

# 委員会だより⑦

今月の委員会の紹介は

安全委員会です

医療法人あすかの「安全管理指針」の基本理念は、『患者様、ご利用者様が安心して安全な医療・看護・介護を受けられる環境を整え、良質な医療・看護・介護を提供する事を通じて、地域社会に貢献すること』です。

この目的を達成するために、安全委員会は全職員の安全に対する意識を高めると共に、事故を未然に防ぐことに取り組んでいます。

とりわけ転倒防止対策に力を入れています。各事業所で転倒や事故が起こった場合、また、実際に事故にはいたらなかった「ヒヤリ、ハット」の場合でも報告し、その事業所の安全委員が中心となり報告書を作成し、再発防止策をたて、職員に徹底します。これらの事故報告は毎月安全委員会で報告され、その事例の検討(要因・対応・再発防止)を行います。必要があれば問題提起を行い、あすか全事業所に伝達し再発防止に努めます。

その他、ご利用者様の転倒に対する危険度を把握したり、安全な環境や用具を整備したりします。又、マニュアルの確認及び改善・日常生活の援助技術の向上を図ることが安全委員会の活動になります。

安全第一だからと言ってご利用者様の行動を単に制限するのでは無く、各事業所ともご利用者様お一人おひとりに合ったサービスを提供しながら、安全に満足して頂けるように、今後も活動していきたいと思っています。

安全委員長

河野 京子



## あすか 11月のロードショー 【武士の一分】

出演者：木村拓哉、檀れい  
監督：山田洋次

### あらすじ

小藩の下級武士である主人公が、妻とのつましくも幸せな生活を踏みにじられたとき、一人の男としての尊厳を懸け毅然と立ち上がる姿を描く。三村新之丞は東北の小藩に仕える三十石の下級武士。毒味役という張り合いのない役目に不満を持ちながらも、美しく気立てのいい妻・加代とつましくも笑いの絶えない平和な日々を送っていた。そんなある日、新之丞は貝の毒にあたって失明してしまう。今後の生活を案じた加代は、上級武士の島田藤弥に相談するのだが・・・

この映画は ショートステイで11/11日(日)

まやるちょーくで11/12(月)・/13(火)

しゅりあちょーくで11/16(金)・19(月) に上映します。

各事業所では上映する映画についてのアンケートを実施中です。皆様のご希望により新しい映画もどんどん上映していきます。各事業所のシアター開催曜日は下記の通りです。

しゅりあちょーく	まやるちょーく	ショートステイ
毎週月・金曜日	毎週月・火・金・土曜日	毎週日曜日



# 若竹句会九月作品抄

信廣高陽 選 (平成十九年)

気がつけば 夏も終りや 法師蟬

中谷 明子

〔寸評〕蟬は七・八月ごろ、法師蟬(つくつく法師)は八月に入ってから秋風の立ちそめるころに鳴き始めます。記録破りの今年夏の暑さ、「気がつけば」がよく効いています。

盆休 来る墓参り 近づきぬ

大北 政子

〔寸評〕お盆休みになると、みんなが帰ってきてにぎやかになる。そしてみんなでお墓参りできる日がつつすべくそこに近づいている。毎日が日曜日の人にとっても盆休みは待ち遠しいもの。「近づきぬ」に、ふくらむ希望が読み取れる句です。

今日からは 残暑見舞よ 妻の声

栗根 年雄

〔寸評〕暑中見舞も立秋を過ぎると「残暑御見舞」ということになります。土用が明けて、まだ暑い盛りの中では実感がなく、つい忘れ勝ちですが、作者の場合は違います。「今日からは残暑見舞ですよ」といふ奥様のことをばを即座に一句にしました。俳句は季節へのあいさつです。夫婦合作の名句。

茶柱を 信じる一ト日 秋つばめ

伊木 幹枝

〔寸評〕番茶の中に、縦に立って浮く茶の茎を茶柱といい、吉事の兆しといわれています。今日はきつといいことがありそうと信じたい気持ちと、つばめがたつていなくなった秋空のわびしさが重なり合って、そこはかたなくひとりべらしのさびしさを浮かび上がらせています。

民謡を 口遊みつつ 草むしり

益田 佐登子

〔寸評〕お得意の民謡を気の向くままに歌いながら草むしりをするといい。この句草むしりという労作の臭いのしない上品な一句。民謡もいろいろ「口遊みつつ」がうまい。

また巡る 原爆の日に 慕う母

山縣 龍三

〔寸評〕巡り巡って今年には62回目の原爆の日を迎えました。今年の平和祈念俳句大会に作者と同じ境遇の方の入選句がありました。ひろしま忘 生きつづけよと 母の声 (由美)

夫偲び 老いの身忘れ 踊子に

奥田 アヤコ

〔寸評〕生まれて初めてと問いつ返してみましたが、どうやら本当らしい。踊って夫の精霊を慰め、送ることができるのならと、思い切った輪にとびこんでみたという。前向きな作者の意気込みが伝わってくる一句です。(例句)うかと出て 家路に遠き 踊かな (召波)

盆休 うるさきけれど また楽し

河野 一枝

〔寸評〕盆と正月が一緒に来たようという言葉があるように、お盆休みには都会へ出てくる人たちが帰省したりして賑やかで楽しいものです。この句、中七は付足して下五の、また楽しが本音と見て取りました。自然な言葉がおのずと口をついて出てきたものを俳句に仕上げた作者特有の佳句です。

夕暮を つくつく法師 鳴きつくす

常広 信枝

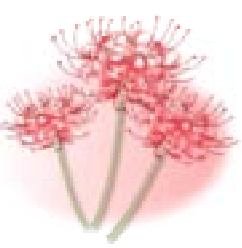
〔寸評〕つくつく法師は、法師蟬ともいい初秋の季語。八月に入って秋風の立ちそめるころ、リズムカルな、また頓狂な声で鳴き始めます。秋の夕暮(秋の季語)のあわれ、さびしさを法師蟬で表現した一句です。

選者 吟

鬼灯を 鳴らし背の子 すりあげる

信廣 高陽

〔訂正とお詫び〕十月号(寸評)の中で四句目「甲句」が「甲区」となっていましたので訂正します。大変申し訳ありませんでした。



# ホームページの紹介



あすかのホームページをご紹介します。  
第6回目は民謡です！

## インストラクターの紹介

正木 邦雄先生

私が民謡を始めたきっかけは、近所に尺八の先生がおられ、練習の音色を聴いているうちに興味をもち、その先生が開いている民謡教室へ習いに行ったことです。

ずっと違う仕事をしながら、夜趣味として民謡や詩吟を習い続けていたんです。そして仕事を引退後、免許を取得し、民謡の先生になりました。趣味を仕事にしたということです。

あすかでは平成15年3月より講師を務めています。



正木 邦雄先生

## 民謡教室での目的

とにかく声を出す。お腹から大きな声を出すことを主にしています。

民謡をご利用者様各自の体験を通じて楽しみながら、お腹から大きな声を出すことにより、体内のストレス発散と腹筋を動かして、体の内側から元気を取り戻すことを目的にしています。

民謡は古き良き時代の生活文化の中で、労作唄として、時には苦しみの中に、ある時は喜びの中に日本人の心として唄われてきました。あすかのご利用者様の方々は、ほとんどその体験者です。民謡を通じて時には、体験談を交えながら一緒に楽しく唄っています。

初めは恥ずかしくて声を出せなかったご利用者様もだんだんと歌えるようになり、積極的に練習をされるようになりました。人生経験が歌に表れるんですね。とてもよい表情で歌っておられます。

## 活動内容

教室内で6月に音戸の舟唄の発表会、年末に忘年会のつどいを行っています。

発表会では一人ひとり前を出て課題曲を歌っていただきます。

日頃の練習の成果を発表する場を設けることにより、皆さんやる気が湧いてこられるようです。

## 医療法人あすかの理念・3S

～当法人はISO9001の認証施設です～

1. **Specialist** (専門家): 職員は、医療、看護、介護の専門家 (Specialist) としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。
2. **Sympathy** (共感): 職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し (Sympathy) 必要なサービスを継続的に提供します。
3. **Safety** (安全): 職員は、患者様と利用者様の健康と安全 (Safety) に対して細心の注意を払います。

### 【編集後記】

「音を色にする！」なんて、すごい発想ですね！P.4の音楽療法の取り組みで、音楽を聞きながらそのイメージを絵にされたものを掲載しています。実際の絵画を見せて頂きましたが、とても素晴らしかったです。

猛暑の夏がやっとやわらいだかと思えば、もうインフルエンザワクチン接種のご案内です！今年の冬は元気に過ごせるといいですね。そのためには、手洗い・うがい・予防接種で予防対策を！！

発行元：医療法人あすか

(編集：浜本 正美・富永 さゆり)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

あすか通所介護事業所	082-830-5177	あすか小規模多機能型居宅介護事業所	082-830-5177	あすか訪問介護事業所	082-830-5177	あすか短期入所生活介護事業所	082-830-0552	あすか通所介護事業所	082-870-3800	あすか通所介護事業所	082-870-3143	高橋内科小児科医院	082-830-5177	ご相談はお気軽に
野ばら	082-830-6704	つどいの家	082-830-5177	みどりの木	082-870-6700	しゅりあちよーく	082-830-0552	まやるちよーく	082-870-3800	あすか居宅介護支援事業所	082-870-3143			

“ニューズレターあすか”は当法人のホームページ上でも見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

高齢者の在宅療養を支援します